

港区立港陽中学校
令和4年度 授業改善推進プラン

1 本校における課題

国語	授業の評価や定期考査の結果より、選択式の文章読解において正答率が高かったが、1・2学年の漢字と、全学年の文法の正答率が低かった。特に漢字は、授業内の小テストに比べて定期考査の得点率が低いことから、出題対象の漢字が増えても正答できるように定着させていく必要がある。また、文章を読み内容を正確に理解する力はおおむね定着しているが、内容を踏まえて自分の考えを表現する力は低い。内容を理解するだけでなく、そこから自分の考えを深め、適切に表現する力を伸ばしていく必要がある。
社会	授業評価や定期考査の結果から、学習内容の確かな理解と定着、地理的分野や歴史的分野の資料を的確に読み取れるようになることが課題である。地理的分野では、各地域の気候の特色を雨温図から理解すること、地図資料から多面的・多角的に考察すること、統計資料をもとに判断し自分の言葉で考えを表現できることが課題である。歴史的分野では、各時代の大きな流れを世界の歴史を背景に理解すること、他の時代との比較を考えることができること、歴史資料から時代の特色を自分の言葉で表現できることが課題である。
数学	授業評価や定期考査の結果から、式の計算の基礎課題での計算過程の定着が課題である。中学校数学の四則計算から方程式までの基礎計算力の定着を図っていく。 関数分野や図形分野においては基礎知識の定着を図るとともに関係する定義、定理、公式の理解を深め、問題文を読んで考えて方針を立て、解答を導き出していく課題の苦手意識も強い。 授業で扱う課題学習において、基礎知識の確認と関係する所定理について、解答を導くために利用したり、解答する過程で表現したりする力を伸ばしていく必要がある。
理科	定期考査の結果から、植物や人体の名称、遺伝にかかわる語句などの正答率は高く、基本的な知識はおおむね定着している。実験の操作や器具の扱いに関しても正答率は高いが、操作を行う理由を問う問題についての正答率は低い。全体を通して、知識や技能を答える問題の正答率は高いが、その理由や規則性を記述させる形式の問題では正答率が低い。実験からわかる規則性を説明したり、生活の中で起こる現象について知識を活用して考えたりする力に課題がある。 観察や実験について考察したり、表現したりする力を伸ばしていく必要があると考える。
外国	定期考査の結果から、聞き取り(リスニング)、語彙と文法、文章読解の正答率は高かったが、自己表現の問題に課題が見られた。授業での反復練習や言語活動を見直し、自分のことを正しく伝えるために、場面や状況に応じて既習事項を活用する力を伸ばしていく必要がある。

2 各教科の具体的な授業改善

	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
国語	◆社会生活に必要な国語の知識や技能を身につけ、活用する力 ◆物事を論理的に考え、自分の考えを表現する力	◆漢字テストを毎週実施し、事前の学習・再テスト・補習等の取組を通して、基本的な漢字の読み書きの定着を図る。 ◆文法の演習を多く設定し、より確かな定着を図る。 ◆意味調べや読書活動の推進を通して、語彙力を高める。 ◆50字、100字、200字などの小作文をできるだけ取り入れ、考えを言語化する練習を積み重ねる。

	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
社会	◆社会的事象に関する知識と理解を深め、技能の習得を図ろうとする力 ◆複数の資料を基にして多面的・多角的に考察・判断・表現する力 ◆よりよい社会の実現を視野に、諸課題を主体的に追究、解決しようとする態度	◆ワークシートや学習活動の工夫、タブレットを活用した授業の充実を図る。単元ごとの確認テストを実施する。一人一人の生徒に合わせ、個別指導の徹底を図る。 ◆資料の読み取り学習を通して、様々な視点から情報を考察し、考えを発表、記述するなどの言語活動を積極的に取り入れた授業を展開する。 ◆各単元のまとめ学習の中で、私たちと社会とのつながりについて理解し、課題意識をもって取り組めるようにカリキュラムを設定する。

	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
数学	◆数量や図形の基礎的な概念や原理を理解し、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けようとする力 ◆数学を活用して事象を論理的に考察し、明確、的確に表現する力 ◆数学的活動の楽しさよさを実感して考え、生活や学習に生かそうとする態度	◆数量を式化し、解答にいたるまでの途中の経過や式の変形について、授業での活動を通して生徒の解法を討論や検討をして計算力の向上を図る。 ◆関数や図形において、グループ、個人での意見交換をより活性化させてグラフや図形の中から見えてくる概念や数学的な理論などを見付けさせて生徒間での共有を図れる授業を行う。 ◆授業で学んでいる数学の理論や概念が生活ではどのような場面でどのように使われているかを授業で扱うことで教材をより生活に近づけたものとして親近感を持たせて興味関心を高め、学習意欲の向上を図る。

	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
理科	◆主体的に自然事象と関わり、それらを科学的に探究しようとする態度 ◆観察・実験の結果を分析・解釈し、そこから関係性(共通点や相違点など)や傾向を見出す力。 ◆学習した内容をもとに、新たな知識を再構築、獲得する力	◆課題を明確にし、自分の考えを表現する活動を通して、主体的な学習態度を養う。 ◆意見を発表することや聞くことを通して、自らの意見を深め、生徒自ら観察や実験の結果をまとめることができるようにしていく。 ◆既得知識や通常の生活の中で起こる事象を課題として取り上げ、既習事項を活用して説明したり課題を解決したりする学習を取り入れていく。

	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
音楽	◆表現及び鑑賞の活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と豊かに関わる力	◆歌唱、器楽、創作、鑑賞の活動を通して、音楽を形づくっているリズム、音程、調性、形式について理解する。 ◆基礎的な音楽の技能を身に付けることができるように、授業の中で、きめ細かく指導を行う。

	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
美術	◆表現方法を創意工夫し、創造的に表す力 ◆造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫などについて考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練る力	◆作品作りや鑑賞において、さまざまなつながりがあることを説明していく。美術に対する興味をさらに広げる。 ◆作品作りの取組について、より丁寧に説明し、細かく個別指導を実施する。表現の技能については、繰り返し指導を行い、基本をしっかり身に付けさせる。

	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
保健体育	◆生涯にわたって運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かな生活を営む態度を養う	◆始業時に、ランニング、ラジオ体操、体幹トレーニング、サーキットトレーニングを継続的に行い、バランスのとれた体力の向上を図る。 ◆男女共習、ティームティーチングにより、個に応じた指導を行う。

技術・家庭	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
	◆生活と技術についての基礎的な知識と技能の習得 ◆知識と技能の習得を基盤とした主体的な学習への取組	◆生徒数の少なさを生かした個別対応を行い、技能習得の支援を行う。知識の習得に向け、前時の学習内容の復習を行うなど、繰り返して学べる工夫をする。 ◆知識と技能の習得を基盤とし、主体的な学習ができるよう、課題の設定を行う。

外国語（英語・国際）	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
	◆コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、知識を活用して表現し、伝え合うことができる力	◆言語活動における使用場面設定、反復練習の回数を工夫し、十分な発話練習から自信につなげ、積極的な自己表現を促す。 ◆基礎となる知識を増やすために、毎時間行う帯活動を充実させる。また、定期的に単語テストや音読テストを行い、定着状況を見ながら授業を進める。

道徳	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
	◆身の回りの物事に対して課題意識をもち、自己を見つめることができる力 ◆他者と話し合い、認め合いながら考えを深め、自己のよりよい生き方を考える力	◆身の回りの物事に対して課題意識をもつ力を育むために、本時のねらいに生徒を自発的に導けるような発問や日常生活での課題を教材に生かす指導を行う。 ◆ペア学習やグループ学習で話し合い活動をする時間を設定する。多様な思考が生まれるような発問や教材の工夫を行う。

特別活動	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
	◆多様な他者と協働する集団活動の意義や必要性を理解し、行動する力 ◆集団や自己、人間関係の課題を見出し、その解決に向けて話し合いや合意形成、意思決定ができる力 ◆人間としての生き方についての考えを深め、自己実現を図ろうとする態度	◆多様な集団への所属感や連帯感を高めるために、生徒の積極的な参加による体験的活動や地域等学校外の活動を活性化する。 ◆学級活動、学年・学校行事、生徒会活動を計画的に行い、特に話し合い活動の充実を図る。 ◆自己理解を深めるため、定期的な学校生活の振り返りと体系的なキャリア教育を実践する。その際、生徒の活動を記録し蓄積する。

総合的な学習の時間	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
	◆問題の解決や探求活動に主体的、創造的、協同的に取り組む態度 ◆自己の生き方を考える力	◆環境学習について、PTAと連携し、学年の発達段階に応じた取り組みを実施する。9学年では中央防波堤埋立処分場の授業体験を実施する。 ◆出前授業、職場訪問や職場体験を地域人材や専門家、地域の事業所等の協力を得て行う。年間計画に基づき、キャリア教育に取り組む。